

聡明で好奇心旺盛な探偵後輩ちゃんと、
殺人事件解決ミューイキまくりえっち

トラック1…殺人事件

登校中

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

おはようございます。先輩。
今日は少し、肌寒いですね。

ふふ。クマがあります？
昨日ゲームで、夜更かししましたから。

そう。
モフモフモンスターの、新作発売日だったんです。ふふふ。

【位置…右耳側50センチ】

SE…一緒に歩き始める

…ん？ コレですか？
数学の、補習プリントですよ。

いえ。私のモノではありません。
さっき道端で拾ったんです。

…2年3組。鬼崎サラ（きざきさら）さんの、プリントです。

はい。同じクラスですよ。
ですからこうして、お届けするために拾ってあげました。

…偉いですか？ ミカゲちゃん。
ふふふ。

（またプリントに目を落として）

えーっと…。

3桁以上の任意の整数を挙げ、二進数に変換しなさい。
九千百……。ふむ……。

SE…ガヤ音

ん……？

おや。そうですね。

学校が騒がしいです。

というか…。警察でしょうか？

*ここから掛け合い

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

【方向…掛け合い中は華凜の方向、

正面50センチ辺りを向く】

華凜 おーい。ミカゲちゃん。

御影 おや、カリンさん。おはようございます。

華凜 うん。おはようおはよう！

ミカゲちゃんの相棒さんも！ おはようございます。

御影 …それで、なんですか？ この騒ぎは。

華凜 そう！ 大変なんだよミカゲちゃん。大事件でさ！

御影 大事件ですか。

華凜 なんと昨日の夜、美術室でね。

うちの生徒が殺されたんだよ！

【演技…少しワクワクした様子で】

御影 ほー…。

* 掛け合い終了

場転

朝のHR終了

【位置…正面50センチ】

おや、先輩。

迎えに来てくださったんですか。

ええ。今から下校で、しばらく休校らしいですね。

殺人事件……。

普段読んでいるミステリー小説の中でなら、なじみの深いモノですが、まさか身近に起こるとは……。

しかも殴殺や刺殺ではなく、拳銃での射殺らしいじゃないですか。

ふふ。中々面白く、興味深い事件です。

ん……。不謹慎ですか？

あはは……。すいません。

事件に惹かれるのは、私の性分なモノで。

…はい。分かりました。

先輩の前以外では、こういうことは言わないよう気を付けます。
ミカゲちゃん、先輩の言いつけはちゃんと守るので、
安心してください。

【方向…掛け合い中はサラの方向、
正面斜め右耳側50センチ辺りを向く】

サラ おーい。ミカゲっちー。

御影 …あ。サラさん

サラ アタシの机に補習プリント置いてくれたの、
ミカゲっちらしいじゃん。あんがとね。

御影 いえいえ。偶然拾っただけですよ。

サラ いやー。あのプリント今朝提出だったからさ。

御影 まあ、提出どころではない騒ぎですけどね。

サラ ホントそれ。ヤバイよね、殺人事件とか。

怖すぎでしょ。

御影 サラさんもお気を付けください。

サラ うん。ミカゲっちもね。

あと…。はいこれ。

プリント拾ってくれたお礼だよ。

SE…ペットボトルを渡す

御影 おや。

モフモフモンスターのコラボサイダーじゃないですか。

サラ そそ。ミカゲっち好きだったっしょ？

御影 好きですし、丁度集めてたんですよ。

このサイダー、

書いてあるシリアルコードでポイントが溜まるシステムで、
集めると幻のモフモンが手に入るもので。

サラ へー！ そうなん？

あ、じゃあ空で良ければもう一本あげるよ。

私の分も買ってあって、そろそろ飲み終わるからさ。

御影 え。ホントですか？

サラ マジマジ。ちょっと待っててね。
ん、んー…。んっ…しょ。

SE…ペットボトルのふたを開ける

サラ ゴクッ。
はい。どうぞ。

御影 ふふっ。ふふふっ。
いやー。ありがとうございます。
とても嬉しいです。

サラ んじゃ、アタシそろそろ帰るよ。
友達待たせてるし。
ミカゲっちも、相棒さん待たせてるもんね。

御影 ふふ。ですね。
ではまた今度、休校が開けたら学校で。

サラ そだね。
ばいばい、ミカゲっち。

SE…サラ走り去る

*掛け合い終了

【方向…マイクの方へ向き直って】

…お待たせしました。先輩。

ふふ。いい人かどうかは、所説ありますね。

サラさん、男遊びが激しいらしいですし、

勉強は留年ギリギリで、あまりいい評判は聞きません。

まあ、私も殺人事件を楽しんでしまうような子なので、先輩から見れば五十歩百歩かもしれませんが……。

……ふむ。

ああ、いえ。

しばらく先輩と会えなくなるなど、考えていました。

学校が休みで、当然ミス研も休部。

しかも自宅待機ですから、

お互いの家に遊びに行くことも出来ない……。

ふふ。寂しいですね。

…まあ、言っても仕方ないですし。
帰りましょう。先輩。

トラック2…事件概要

(登校中)

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

んーっと…。双葉さんの受賞履歴……。

本人のタイムラインを見れば、出てくるでしょうか…。

…あ。

おはようございます。先輩。

はい。七日ぶりですね。

犯人の自主により事件は解決。学校は再開……。

ミステリー読みとしては、

もう少しこじれることを期待したんですけど…。

案外あつけないモノでした。

ふふ。そうですね。

相変わらず私、不謹慎ですね。

いえ。先輩の前だけですから、大丈夫です。

ミカゲちゃんは先輩の言いつけは、ちゃんと守る子なので。

(並んで歩き始める)

【位置…右耳側50センチ】

…ところで先輩。

私は実のところ、まだ今回の殺人事件は、解決していないと考えてるんですね。

いやいや。真面目な話ですよ？

えーっと…。

まずは事件のあらましを、一度整理してみましかうか。

被害者は私の同級生。

2年2組の「宮根 双葉（みやね ふたば）」さん。
美術部で……。

昨年、有名なデザインの賞を取った、エース的な存在ですね。

事件当日である一週間前の夜。

双葉さんは部室である美術室で、絵を描いていました。

彼女は他の部員が帰ったあとも、

よく居残りで作業をする人だったそうで、

その日も例にもれず、夜中に一人で、美術室にいたそうです。

…するとそこに何者かがあらわれ、

双葉さんを銃で撃ち殺害。逃走しました。

遺体が発見されたのは、夜の11時を回ったところ、

いつまで経っても部室のカギを返しにこない双葉さんのもとへ、

顧問の秋篠（あきしの）先生が尋ねたところ、

部室の扉を開けてすぐのところ、

血だまりの中に倒れている双葉さんを見つけた……。

…これが事件の、おおよその流れです。

ちなみに秋篠先生は職員室で作業をしていた、

発砲音事態は聞こえていたそうですよ。

ですがまさか、銃の音だとは思わず、気にしなかったそうです。

…そしておとといのこと。

双葉さんと同じクラスの2年2組、

森永海斗（もりながかいと）さんが、警察に自首をしました。

海斗さんの供述によれば、

サバゲーで会った知らない人から「銃を買わないか」と言われ、
それを購入。

手に入れた銃で誰かを撃つてみたくて犯行に及んだと……。

凶器である三十八口径のリボルバーも海斗さんの自宅から見つかり、
…これにて事件は終息。

…ということで、今日から学校が、再開する運びとなったわけです。

…ですが。

私はこの件に関して、一つ違和感があります。

というのも実は、事件があった日の夕方。

私は犯人の森永海斗さんを、電気屋で見かけたんですよ。

知っての通りその日は、モフモフモンスターの新作発売日でした。
だから私は放課後、それを買うために電気屋へ行ったのですが、
そこには私と同じく、
モフモンの新作を買う海斗さんがいらっしゃったんです。

つまり海斗さんは、モフモフモンスターの新作を買ったその日の夜、
双葉さんを殺したと言うことですね。

……おかしく無いですか？

だってゲームの新作を買った後は普通、
夜通しそのゲームをやりまくりたいはずです。

熱意があるからこそ、発売日のその日に買った訳でしょうしね。

…しかし海斗さんは、
せっかく買ったモフモンの新作を放り出して、
双葉さんを殺しに学校へ行った。

動機的に殺人を行うのは、
その日じゃなくても良かったはずなのに…。
…結構不可解です。

……なんですか？

しようもなく無いですよ。

あの時の海斗さんのキラキラとした表情を見れば、
人殺しなんかせず、

夜通しゲームをやるつもりだったに違いないと、
先輩も思っはずです。

…まあ。色々考えられますが。

私は海斗さんが、誰かをかばっていると考えています。

双葉さんを殺した犯人は別にいる……。

ええ。その方が、面白いです。ふふふ。

警察が気づかない訳が無い？

んー……。その反証は一理ありますが…。

今回犯行に使われた銃は、38口径リボルバー。

……これは、警察が使用している銃の種類です。

もし何か、銃が流出する失態を警察がしていたとしたら、
今回の事件はそれを隠すために、早期に収束させたいでしょう。

だから誰かを庇っている可能性があったとしても、
海斗さんの自首を受け入れた…。

そういう可能性も、あるかもしれませんね。

【位置…正面50センチ】

ともかく先輩。

私は今回の件、色々調べてみようと思います。

探偵ごっこ……。と言ってしまうと、アレですが、
どうにも好奇心がうずくもので。

……ダメですか？

ふふ。分かりました。

周囲を不快にさせないようには、最大限気を付けます。
先輩の言いつけは、私絶対に守りますよ。

ではまた放課後に。

ミス研の部室でお会いしましょう。

久々の学校、頑張りましょうね。先輩。

トラック3…聴取

SE…扉を開ける音

【位置…正面50センチ】

【方向…マイクに向かって】

御影 お。先輩来ましたね。

ネネ あ…。どうも…。ミカゲちゃんの相棒さん……。

御影 この子ですか？

同じクラスの、栗原ネネ（くりはら ねね）さんです。

ネネ 栗原です。初めまして……。

えっと…。相棒さんのお噂は、かねがね聴いてます…。

ミカゲちゃんと、いつも一緒にいる方、ですよ…。

御影 ふふ。ネネさんには、色々お伺いしたい話が合って、

来てもらったんですよ。

ひとまず先輩。こちらへ座ってください。

【位置…右耳側50センチ】

【方向…ネネの方向、正面50センチに向かって】

ネネ えっと、それで…。ミカゲちゃん。話って…。何かな。

御影 はい。ネネさんにお伺いしたい話というのは、

亡くなった双葉さんについてのことです。

ネネさん、双葉さんとは同じ美術部で、ご友人でしたよね。

それで、彼女についての情報を色々、

お聞かせいただけたらなど。

ネネ ……そっか。やっぱり…。そんな話なんだ。

御影 だめですか？

ネネ ……。

ねえ。ミカゲちゃん。

御影 はい。

ネネ どうして…。そんなこと聞くのかな？

御影 理由が無ければ、聴いてはダメですか？
ネネ うん。だって私…、野次馬なんて、大嫌いだもん。

双葉ちゃんの死を面白おかしく騒ぎ立てる人たち、
みんな、不愉快なんだ。
私の大切な友達の死を、エンタメにされる…なんて、
許せるわけ無いからさ…。

…だから。ミカゲちゃんがもし娯楽として、
野次馬感覚で…双葉ちゃんの話を知りたいって言うなら、
私は何も、話す気は無いよ。

【方向…次の一行は、マイクの方に向かって】

御影 ……いえ。大丈夫です先輩。
もう少しだけ、見守ってください。

【方向…またネネの方向、正面50センチに向かって】

御影 分かりました。ネネさん。
成程。至極真つ当な意見ですね。

【ここからは詐欺師なので、
言いくるめるつもりで演技をして欲しい。】

御影 ですがご安心下さい。野次馬などではありません。
ネネ ……私はただ、復讐がしたいんですよ。
ふくしゅう…？

御影 そう復讐です！
憎き森永海斗（もりながかいと）を！
この手で追い詰めたいんです！

ネネ ……え、えっと。
御影 ごめんなさい。つい声を荒げてしまいました。
この話になると、熱っぽくなってしまふモノで。

御影　…私はね。ネネさん。双葉さんの大ファンだったんですよ。

昨年の全日本アート大賞での入賞に始まり、各展示での繊細かつ力強い絵の数々。

同じ学生ながら、彼女は本当に輝く才能を持ち、それを私は、尊敬していたんです。

ネネ　…ホント？

御影　本当ですよ。

宮沢賢治展での銀河鉄道の絵、

地域の生き物展での車に群がる鳩の絵。

私の宝物展での、美術部の部室から見える風景の絵。

私はその数々に、心を打たれて来たんです。

ネネ　そう…。そっか。

ちゃんと双葉ちゃんの事、見てたんだね。

御影　…そして。

だからこそ私は。

双葉さんを殺した森永海斗という男が許せません。

知っていますか？

人を一人殺した程度では、

せいぜい10数年しか刑務所に入らないんです。

つまり30そこそこになれば、

また森永海斗は何食わぬ顔で普通の生活を送り始める。

双葉さんという天賦の才をこの世から奪ってにおいて

あまりにも軽すぎる処罰です。

ネネ　うん。そうだね。私も…そう思う。

御影　だからこそネネさん。

あなたには、双葉さんの事を教えて欲しいんです。

森永海斗を徹底的に追い詰め、社会的に殺すために。

ネネ　……。

御影
私は今回の事件を、とても凶悪で凄惨なモノとして、ネット上に流布するつもりです。

森永海斗の悪評をこれでもかと広め、逆に双葉さんの美談を、大量にあげつらう。そうすることで日本中からのバッシングを森永海斗に浴びせ、刑務所から出てきた後も地獄を味わうほどの社会的地位の失墜を、あの男に与えたい。

御影
：ただ、双葉さんの美談を構築するには、土台が必要です。双葉さんの人となりを知り、事実に基づいてネットへの流布は行わなければいけません。ですからこうして、双葉さんと親しかったネネさんにお話を聞かせて頂こうと、不躰ではありますが、お願いをする次第です。

どうですか？
私達が出来る最大限の範囲で。
ともに森永海斗に、復讐をしませんか？

これは。栗原ネネさん。
あなたにしか、できない事なんです。
双葉ちゃんの親友であった、あなたにしか…。

ネネ
御影ちゃん……。

そっか。分かった。私も同じ気持ちだよ。
復讐したい。双葉ちゃんを殺したクソヤロウに。
それが出来るなら、私が知ってること、全部話すよ。

御影
：ふふ。協力感謝します。ネネさん。

【ここから少し力を抜いて、説得完了感を出す
(優しい口調で)】

御影 では…。そうですね。

まずは双葉さんの性格から、教えて頂けますか？

ネネ 性格か……。なんて言うかね。

ストイック…だったかな。双葉ちゃんは。

御影 まあ、あれ程結果を出していた人ですから。
そうですね。

ネネ 毎日他の部員たちが帰った後も、

一人で絵を描き続けてて…。

下校は十時とか、十一時を回るのはザラだったハズ…。

御影 絵に捧げた人生だったと。

となると、

絵を描くこと以外の趣味は、無かったのでしょうか？

ネネ 一応趣味みたいなものは…。他にあったかな。

私はよく分からないんだけど。

えーえすえむある？ を、聴くのが好きで、

よくイヤホンで、それを流しながら絵を描いてたはず。

御影 A S M R…。

雨や焚火などの、

耳障りの良い効果音を聴くコンテンツですね。

もしくは…。ちよっとエッチな異性からの囁きなど…。

ネネ あはは…。よく知ってるね…。ミカゲちゃん。

そう。囁きボイスみたいなの…。双葉ちゃんはよく聴いてた。

それから将来お金をためて、

そういうのを作る側に回りたいとも…。言ってたよ…。

なんか、すごい高いマイクとか、あるらしくて…。

御影

成程。消費者側ではられない、
双葉さんのクリエイター気質が、よく表れていますね。

：では、学校の勉強などはどうでしたか？

双葉さんの美談を作るにあたって、

勉強もしっかり頑張っていた優等生。

という風に出来ると、何かと都合が良いのですが。

ネネ

あはは…。それは残念ながら。

双葉ちゃん、成績悪かったんだよね…。

御影

おや。

ネネ

地頭は多分、悪くなかったんだけど…。

テスト前も勉強せず、ずっと絵を描いてるから…。

あ。でも補修とかはしっかりやるタイプだったよ。

良くも悪くも、

必要最低限の労力でテストをクリアしようとするタイプ、

っていうのかな。

御影

双葉さんらしいですね。

ネネ

それで、私はだからこそ、双葉ちゃんとは仲良かったんだ。

お恥ずかしながら…。私もあんまり、頭がよく無くて…。

よく補修で、一緒になってたの。

御影

ふむ。ネネさんと双葉さんは美術だけでなく、

勉強でも苦楽を共にした仲。ということなのですね。

ネネ

そう…。それで…。その…。

…双葉ちゃんが殺された日もね…。

数学の補習プリント、見せてもらってた。

ネネ

…夜の八時くらいにさ。連絡したんだ。

「補習のプリント、答え比べたいから、

良かったら見せてくれない？」って。

そしたら双葉ちゃん、まだ美術室で絵を描いてて。

プリントは終わってない。って、返って来た。

…でも一時間後くらいに、
双葉ちゃんからプリントの写真が送られてきたの。
私のために手を止めて、
美術室で補習プリント、やってくれたんだよね…。
それで…。多分そのあと…。殺されちゃった…。

御影
ネネさん…。

ネネ
優しい、子だったんだよ？ 双葉ちゃん…。
私が…。私があの時何か言えば。
「そろそろ帰ったら」とか言ってれば、
殺されずに済んだのかなあ…？
ごめん。ごめんね…。双葉ちゃん…。
…ん…。くっ…。すう…。はあ…。

御影
すう…。ふう…。(深呼吸一回)

ごめんなさい。ネネさん。
辛い話をさせてしまいましたね。

ネネ
ん…。大丈夫。
こっちこそごめん。急に泣いたりして。

【方向…次のセリフは、マイクの方を向いて】

御影
…ああ。そうですね、先輩。
話を聴くの、今日はここまでにしましょう。

【方向…またネネの方向、正面50センチに向かって】

御影
ネネさん。ありがとうございました。
少し、デリケートな所に踏み込み過ぎましたね。
また落ち着いたら、話を聞かせて下さい。

ネネ あはは……。そう……。だね。

でも、ちょっと話して、楽になったよ。
ありがとう。ミカゲちゃん。

御影 ……そうですか？　なら良かったです。

SE…ネネ、扉へ歩く音

ネネ ……。あの。ミカゲちゃん。

御影 ……はい。

ネネ ……やっぱり、いいとこばかり話すのも、
良くない気がしててさ。

…これは、警察にも話してないことで……。
聞いたら御影ちゃん、
双葉ちゃんに幻滅しちゃうかもしれないけど…。
言っていいかな。

御影 ……どうぞ。

ネネさんの言いたいこと、吐き出してください。

ネネ ……双葉ちゃん。ドラッグやってたんだ。

あと、恋愛関係も、あんまりいい噂を聞かなかった…。
天才にも、闇があるんだね。やっぱり。

御影 ……。そうですか。確かに少し、衝撃的な事実です。
ネネ それじゃ。またね。

SE…扉が閉まる。

……。ふふっ。成程。
色々面白い話が聴けました。

【方向…ここからまた、マイクの方を向いて】

…ええ、嘘ですよ。

私が双葉さんのファンではありません。
ネネさんに喋って頂くための、方便です。

ああいう嘘は、やはりダメでしたか？

一応先輩の言いつけ通り、
誰も不快にしないよう、気を付けた結果なのですが…。
結局ネネさん、泣かせてしまいましたし……。

ギリギリセーフ？

ふふ。なら良かったです。

…さて先輩。それでは私達も部屋を出ましょう。

実は一階のロビーに、
双葉さんが死ぬ間に描いていた絵が展示されているそうです。
なんでも、遺族経ってのお願いだとか。

ですからそれを、観賞しに行きましょう。先輩。

トラック4…遺作

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

おー…。成程。

これが双葉さんの遺作ですか。

…ですね。描きかけですが、流石に良い絵だと思います。

しかし。

自画像展へ出すモノらしいですが、
それにしては随分、宗教画っぽいですね。

天使から女の子へ、たいまつが手渡される絵……。

たいまつを受けつつっている女の子が、
双葉さん自身と言うことなんでしょうか。

だとしたら…。

果たして犯人は、この絵を見た時、何を思ったんでしょう…。

SE…スマホの通知音

ん。返信が着ました。

ああ、いえ。

部室を出るときネネさんに、
追って一つ、メッセージを送ったんです。
確認したいことがあります。

（スマホを見る）

……ふむ。あまり自信は無かったのですが、
これで真犯人は、確定ですか…。

ええ。ホントです。

分からない情報は多々ありますが、
ひとまず証拠は、手に入りました。

明日の放課後、決着をつけましょう。先輩。

トラック5…屋上にて

SE…扉が開く音

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

【方向…サラの方向、正面50センチへ向けて】

サラ あ。えつと…。

御影 こんにちは。サラさん。

サラ ミカゲっち…。

ふふ。なんだ。

相棒君に仰々しく呼ばれたから、

告白でもされるのかと思ったじゃん。

ミカゲっちもいるならそうじゃないよね。

…なんか用？

御影 …ええ。

告白を装ったのはすいません。

その方が、警戒せずここへ来てくださるかと思ひまして。

サラ 警戒って…。

御影 私ね。もったいつけるのは趣味じゃないんです。

だから単刀直入に言いますけど…。

サラさん。あなたが犯人だったんですね。

サラ ……は？

御影 あなたが、双葉さんを殺したんですね。

サラ へ？ いやいや。何言ってるのさ。

あの事件は普通に、海斗が犯人として捕まったじゃん。

御影 海斗さんはあなたを庇ってるんです。

そうでしょう？

サラ いや……。なに適当なこと言ってるの？

ドッキリにしては趣味悪いんだけど。

御影 ……最初は小さな疑念でした。

事件があった日の翌日。

あなた私の前で、ペットボトルをあけましたよね。

サラ ペットボトル？

御影 その時の様子が私、結構違和感があったんです。

随分ふたを開けるのに苦戦しているなど。

それでこう考えました。

「あなたは当時、手を痛めていた。」

…双葉さんは、38口径のリボルバーで射殺されました。
犯人がもし素人だった場合、
反動で手を痛めた可能性が、高いんですよ。

サラ ……だから、なに。その程度の事で、

御影 いえいえまさか。

こんなのはただの、思考のつかかりですよ？

ここから核心的な話をしますから、よく聞いてください。

…当時。

もう一つ疑念というか、

あなたに対する疑問が、私にはありました。

私はあの日、あなたの補習プリントを拾いましたよね。
記憶力が良いモノで、内容をよく覚えています。

問1.

3桁以上の任意の整数を挙げ、二進数に変換しなさい。

これに対しあなたは、九千百。
という数字を、挙げていましたね。

サラ ……いや、覚えてないけど。

御影 いえ、間違いありません。

それで私、疑問に思ったんですよ。

なぜ三桁以上という指定で、

わざわざ四桁の9100という数字を出したのか。

何かサラさんにとって、この数字が特別なのではないかと。

ですが…。違いますね？

サラさんにとってこの数字は、

特別でもなんでも無いですよ？

この9100は、

双葉さんにとっての特別な数字。そうでしょう？

サラ ……言ってる意味が、よく分からないんだけど。

御影

あなたは双葉さんを殺した後、

そこにあった双葉さんの補習プリントを盗んだんですよ。

そしてそれを、丸写ししたんです。

…あなたは留年ギリギリで、

できれば補習をクリアしたいと考えていた。

しかし殺人を行う前後で、

補習と向き合う余裕なんて、

心理的にも無かったことでしょう。

だから彼女を殺した後、そこにあった補習プリントを盗んだ。

盗んで、丸写しした。

提出されない死人のプリントなら、

本当に丸々写したって、バレませんか？

……違いますか？

サラ おや、そんなわけ……。無いじゃん。

御影 9100という数字は、元は双葉さんが書いたんです。

彼女、ASMRが好きで、
将来高いマイクを買って、
自分で音声を作る志（こころざし）があつたらしいですよ。
高いマイク、業界ではKU100というマイクが有名です。
KUを数字の「く」と読めば。
成程、九千百。

これは彼女の、目標の数字だったのですね。
あなたにとっては、ただの写経の対象だったようですが。

サラ いや……。いやいやいや！ だからさ！

そんなわけないじゃん。
根拠もなく適当な事を、
よくぺらぺらと言ってくれるよね。

御影 すいません。

遅くなりましたが証拠もあります。

サラ は？

御影 実は双葉さんは殺される日の夜、
友人に補習プリントの写真を送っていたんですよ。
その友人からそれを。

昨日私のスマホにも、送って頂きました……。

そこにハッキリ、

双葉さんの9100という回答が記されています。

サラ ……。

御影 サラさん。

まだ、あなたの提出した数学の補習プリント、返ってきてませんよね。

返却されたら是非、見比べてみたいモノです。

この写真…、双葉さんの回答と、あなたのプリントを。おそらく、間違えた場所も、途中式も、証明の文章も。全て同じなのでしょう？

丸写しした証拠に、なると思います。

サラ いや…。えっと。

私も双葉ちゃんから、見せてもらって…。

御影 ならそのやりとりを見せて下さいよ。

スマホの中に履歴があるでしょう？

サラ そうじゃなくて、昼間に直接…

御影 双葉さんがプリントを終わせたのは、夜の八時です。昼間に見せてもらうことは出来ません。

サラ つ……。

御影 はあ…。(溜息)

さて。これでまあ、夜の八時以降に、

双葉さんとあなたの接触があったのは確定で…。

私としてはほぼ、あなたが真犯人なのだろうと思うのですが、いかがですか？

鬼崎サラ(きざき さら)さん。

サラ ……ざけんなよ。

御影 はい？

サラ

ふざけんなよミカゲ!!
事件はもう解決してるのに!
探偵ごっこでいらない事暴きやがって!!

随分楽しそうに推理してくれたけどさ!
人の人生滅茶苦茶にすることの、何がそんなに面白い訳!?
アンタみたいなクズに、なんでアタシが!!

御影

ふ…。ふふっ。ふふふふふっ。

サラ

なにが…。おかしいのさ。

御影

いえ。おっしゃる通りです。サラさん。

サラ

…は？

御影

私は楽しんでるんですよ。
推理をすること。人の悪事を暴くこと。
これが私にとっては、極上のパズルゲームのようで、
この上ない娯楽なんです。
今回も面白半分で、あなたの犯行を暴かせて頂きました。

御影

…私の事、クズと言いましたね。
ええその通りです。
この気質のせいで、沢山の人を不快にしてきました。

暴かなくてもいいことを暴いて、むやみに人を追い詰めたり、
捜査のために、人の心に土足で踏み込んだり。

私自身、倫理観があいまいで、
やって良いことと悪いこと。

言っていいこととダメなことの区別が、つかないんですね。

サラ

ああ、不快だよミカゲ。ものすごく。

御影

でもねサラさん。

だからこそ、私のそばにはいつも相棒がいます。

SE…ミカゲ、先輩に歩み寄る

【位置…右耳側50センチ】

【方向…同じくサラの方、正面50センチへ向いて】

御影

この先輩は、それなり普通の人ですが、私にはない倫理観がありました。

私が踏み込み過ぎている場合や、

余計なことをしそうになった時に、

止めてくれるようお願いしてるんですよ。

だから私は絶対に、先輩の言いつけは守るようにして…。

今回はやめろと言われなかったので、

ここまであなたを追い詰めました。

だからたぶん、

探偵ごっこだとしても、面白半分だったとしても。

暴かれるべき罪なんです、アナタのしたことは。

すいませんがその不愉快は、推し量るにあたいしません。

殺人。ですからね。

【方向…次のセリフのみ、マイクの方を向いて】

そうでしょう？ 先輩。

サラ
……。

【方向…またサラの方、正面50センチへ向いて】

御影　そしてサラさん。

あなたには、いなかったんですね。
止めてくれる人が、支えになる人が。

だから踏み込み過ぎた。殺してしまった。
可愛そうだなと思います。まるで昔の、私を見ているようで。

サラ　可愛いそう？　私が……？

……。

【方向…ここから、マイクの方を向いて】

御影　さて。では警察に、連絡しましょうか。

おや。まだ聞くことがありますか？

……どうぞ。

SE…先輩がサラの前へ。

サラ　……なに？　…海斗との関係？

ただの、セフレの一人だよ。

私が、「人を殺したっ」て泣きついたら、
「俺が守る」って自首してくれた。…馬鹿なやつ。

…そうだね。

殺す前から、あいつが私を庇ってくれることは分かってたよ。

メンヘラで、歪んだ価値観の男でさ。

「人殺したこともある」とか、

そういうのに憧れる、中二病っぽいところもあって…。
だから付き合った。身代わりになってもらうために。
計画通りってやつ。

…殺した理由？

あの女が、アタシの家族を滅茶苦茶にしたからだよ。

アタシのパパと付き合っ…。

不倫だけならまだしも、パパにクスリをやらせた。

それで私の家族は滅茶苦茶になった。

だから、その復讐で殺したの。

…それだけだよ。

どう？ 同情した？

見逃してくれる？

そっか。まあ、そうだろうね…。

人に罪を着せた時点で、見逃される道理はないか…。

アンタは、随分マトモだね。

そんな真剣な顔して…。

よくミカゲみたいなやつと、一緒にいれるよ……。

御影 　ん。もういいですか？

成程。

一応通報の判断は、動機を聞いてからしたかったですね。

…先輩が通報します？

では、お願いします。

サラ 　あーあ。

うまくいかないもんだねー。

海斗の自首が成立したときは、行けると思ったんだけど。

私みたいな馬鹿が思いつく程度の事じゃ、

逃げ切れるわけないか……。

【方向…またサラの方、正面50センチへ向いて】

【ここからのシーンは、とてもやさしい声音で話して欲しい】

御影 ……。サラさん。

サラ ー…？

御影 双葉さんが最期に描いていた、あの自画像を。
天使からたいまつを双葉さんが受けとる絵を、見たとき、
何を思いましたか？

サラ 別に、何も。

御影 天使というのは、とつがず、めとらない存在です。
ということはある天使は、
妻帯者で手に入らない存在である、
あなたの父を表していたのではないのでしょうか。
そしてその人から双葉さんは、火を、受けつつっていた。
つまり……。

…サラさん。

あなたが都合よく解釈しているだけで、
クスリで滅茶苦茶にされたのは、
双葉さんの方なのでは無いですか？

あなたの父から、双葉さんに、薬を売っていた。
あなたの家庭が滅茶苦茶になったのは、
ミイラ取りがミイラになっただけ。

犯行に使われた銃も。
あなたのお父様のもの、ですよね。

サラ ……。

分かってるよ。

そんなこと、最初から全部わかった。

だから……。殺したんじゃない……。

御影

…そうですか。失礼しました。

今のは、暴かなくても良いモノでしたね。

トラック6…打ち上げ

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

あ。先輩来ましたね。
はい、先輩の分のサイダー、買っておきましたよ。
どうぞ。

【位置…正面50センチ】

いえ。改めてささやかですが、
昨日の打ち上げをしておこうかと思ひまして。
はい。かんぱい。

SE…かんぱい

いやー。なかなか楽しかったですね。昨日は。
ちよつと警察の取り調べは、長すぎましたけど。

また不謹慎ですか？ 大丈夫。先輩の前だけです。

まあそもそも、随分くどく口止めされましたので、
先輩以外に事件の話はできませんね。

警察が反社に銃を流したという背景がある訳で、
やはりできるだけ、

荒立てずに事件を収束させたいのでしょう。

んー…。しかし。

ちよつとスゴいですね。

いえ。サラさんのことです。

殺人を犯しても罪をかぶって貰えるほど、
男性に愛されると言うのは、

中々すごいことだと思いますか？

どういう男性を選んで、
どういうアプローチをかければそんな関係になるのか。
非常に興味があります。
彼女と面会する機会があれば、是非聴いてみたいところですね。
あはは。

……。

先輩は……。どうですか？

いえ。

私が人を殺したら、代わりに自首してくれますかと。
そういう質問です。

ふふ。中々信用されてますね。

確かに私なら、庇われずとも捕まらないように殺すでしょうけど……。
そういう回答が聴きたかった訳では無いと、分かってるでしょう？
まったくもう。

……私ですか？

私は……。そうですね。

流石に自分から、先輩を庇おうとは思いません。

ですが、先輩が庇えって言うなら、かばいますよ？

私、先輩の言いつけはなんでも聞くようにしてるので。

おや。冗談に聞こえました？

別に冗談ではないのですが……。

盲目的……ですけど。仕方ないじゃないですか。

今までの生活で、先輩の言いつけを守ることはもはや、
私の中で定義づけられてしまってるんです。

あ、飲み終わったなら、そのペットボトルは下さいね。
ポイント集めてるので。あはは。

トラック7…囁き耳舐め手コキ

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

ん。課題終わりました。

先輩は……。

動画鑑賞ですか。

ベットでゴロゴロと。

自分の部屋だと結構、だらしないですね。

【位置…正面30センチ】

SE…ヒロイン。主人公のズボンを脱がせ始める

ん…。しょ。

下着も…。よし。

SE…耳元へ移動

【位置…次のセリフ、右耳側5センチへ移動しながら】

…どんな動画見てるんです？

…成程。猫ちゃんですか。

癒されますよね。

【演技…次の二行は独り言っぽく】

(手コキスタート)

しこしこ。しこしこ…。

ふふ。おちんちんあったかい。

…ああ、私は犬派ですね。

従順でかわいいから、でしょうか。

あ。先輩が猫派なら、猫派になりますよ？

一緒にいいです。

いや。正直どちらでも良いんですね。ふふふ…。

【次の2行も独り言↓おもむろに耳舐めを始める】

しこしこ。しこしこ…。

そろそろフル勃起ですね…。

【耳舐め30秒】

お。見終わりました？

【位置…次の一行、正面5センチへ移動しながら】

ふふ。ではキスも…。

【深めのキス30秒】

ふふ。お口の中とろけちゃいます。

（←短めのキスをもう一度して微笑む）

ちゅ…。んちゅ…。むちゅ…。ちゅぱ…。ふふふ。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

【演技…ここから、甘えるように】

…ねえ先輩。

何か、命令して下さいよ。

えー…。命令されたいです。

先輩に従うの、好き。

ミカゲちゃん、先輩の言いつけは絶対に守る、
良い子でありたいですから。

【囁き終了】

【演技…甘えるような演技もここまで】

【位置…正面斜め右耳側5センチ】

（手コキ終了）

ん？ バイブでオナニーですか？

ふふ。分かりました。

【位置…正面斜め右耳側30センチ】
SE…脱衣音

ん…。んしょ。おパンツ脱いで…。

ふふ。そう。

新しいバイブを買ったんです。

前のやつより、さらに先輩おちんちんに近い形状で、
私のおまんこにぴったり収まるんですよ。
みててくださいね。

（←次の一行でバイブ挿入）

んっ…。んんっ。んあっ…！
ん……。ふう……。

…ほら。奥までずっぷりです。

このまま電源入れて、おまんこぬちゆぬちゆしますね。

ふふ。耳元で、喘ぎ声聞きます？

【位置…次のセリフ、右耳側0センチへ移動しながら】

はい。それでは……。

【ここから囁き（有声音）】

ミカゲちゃんのオナニー、聴いてください。

SE…電源オン

【演技…ここから喘ぎながら。後半ヒートアップするので、
そんなに激しくは喘がない。（吐息多め。）】

んっ…。んんっ。んあっ、あっ。
あっ…。んんっ…。んっ…。ふう…。

ふふ。おまんこに突き刺さったバイブが、ぐにぐに動いてます。
んっ…。ふう…。

おまんこ、いじめられて、気持ちいいです。
あっ…。んんっ…。ふう…。はあ…。

先輩。私ちゃんと、バイブでオナニー、してますよ。
あっ…。んあっ…。ふう…。んっ…。
…偉いですか？

はあ…。ふう…。

ミカゲちゃん、先輩の言いつけ守れて、良い子ですか？
んっ、あっ…。んんっ…。ふう…。はあ…。

えへへ。嬉しいです。ふう…。ふう…。

おちんちん、シコシコしますね。

んっ…。あっ…。ああ…。ふう…。

一緒に気持ち良くなりましょう？ 先輩…。

んっ…。ああっ…。ふう…。ふう…。

【耳舐め30秒（以下、耳舐めしながらセリフ）】

んちゅ…。ちゅ…。ちゅぱ…。

先輩、すいません。

んちゅ…。ちゅ…。

私、そろそろイキます…。

はあ…。ふう…。んちゅ…。れろ…。

んちゅ…。ちゅぱ…。ちゅ…。んちゅ…。

ふふ。このバイブ、先輩おちんちんと、同じ形で…。

んちゅ…。ちゅ…。んっ…。あっ…。

おまんこ喜んで、すぐ、イっちゃうんですね。

んちゅ…。ちゅ…。ちゅぱ。 **（耳舐め終了）**

あっ…。んんっ…。はあ…。ふう…。

ん…。もうイキます。

いく。いく。

んっ。あっ。はあ、ふう。

いくいく。先輩。せんぱいっ。

いっ……………く……………！！ **（絶頂）**

ん……………あ……………。

【次の二行、呼吸を整える感じの喘ぎ】

はあ、はあ、はあ、はあ。
ふう、ふう、んっ…。あっ…。

【まだバイブは動いているので、息荒めの演技で会話。
さつきより少し余裕のない感じの喘ぎだと嬉しい】

はい。イキました。
んっ…。あっ。
いった直後のおまんこ、バイブで容赦なく、
んっ…。ふう…。
いじめられてる、状態です。
はあ、はあ、んっ、あっ。
んっ…。んんっ…。あっ、ふう…。
キツい、ですね。
ふう…。ふう…。
おまんこ、敏感で。
あっ…。んっ…。はあ、はあ。
頭、おかしくなりそうです。
んっ。ああっ。んっ…。ふう。

偉いですか？

んっ…。ふう…。
おまんこイっても、先輩の言いつけ通り、
あっ…。んっ…。
ミカゲちゃん、バイブでオナニー、し続けてます。
あっ…。んあっ。はあ、ふう。
私、先輩に従う、良い子ですから。
あっ…。んんっ…。ふう…。んっ…。
やめって、言われるまで。
んっ…。んあっ…。ふう…。んっ…。

おまんこ壊れても、オナニー…。
んっ、んあっ！ んっ……。
オナニー、し続けます。
はあ、ふう、んっ、あっ。
んっ。んあっ、はあ、あっ…。
ふふ。おちんちんシコシコも。
んっ…。ふう…。
いっぱいしますね。先輩。

【耳舐め30秒】

あっ、んっ、はあ、ふう。
んっ、ふう、んっ、あっ。

せんぱい…。もっと命令、ありませんか？

んっ、んっ、はあ、はあ。

ミカゲちゃん、先輩の命令、
んっ、はあ。
命令欲しいです。

あっ、んっ、ふう、ふう。
んっ、んあっ、あっ、んっ…。

お口？
んっ、あっ。
射精するまで、お口おまんこですか？
はあ、はあ、ふう、ふう。

…分かりました。

【囁き終了】

【位置…次の喘ぎ、正面30センチへ移動しながら】

んっ、あっ。はぁ。ふう…。
んふ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

ミカゲちゃんの、小さなお口…。
はぁ…。ふう…。ん、んあっ…

【次、最後のへんぱい…で、おちんちん啜えこむ。】

喉奥まで、おちんちんで、使ってください。へんぱい…。

【激しめのフェラ20秒。

（以下引き続き、フェラしながらセリフ）

じゅぶ。じゅる…。じゅぶぶ。

はい、れますね。（はい。出ますね。）

じゅば。じゅるる。じゅぼじゅぼ。じゅぶ…。

だひてください。（出してください。）

じゅぶ。

らひて。へんぱいらして。（出して。先輩出して。）

じゅぶ。じゅるる…。じゅぼじゅぼ。

じゅるるる…。じゅぶ…。

たくさんろーぞ？（沢山どーぞ？）

じゅぶう。じゅぶ。じゅるるる…。

（←射精）

ん…！ んんっ…！ んっ！ んんっ…。

（←ここからお掃除フェラをして、精液を飲み込む。）

じゅるる…。ちゅ…。ちゅぶ。

れろれろ…。んちゅ…。ちゅ…。ちゅば…。

ん…。ゴクっ。んっ…。はぁ…。

【まだバイブが動いているので、息荒めで】

んっ、んあっ、はあ、ふう。
んっ、んんっ、ん、ふう。
ほら、先輩。飲みましたよ？
はあ、はあ、ふう、ふう、
射精するまで、おくちおまんこ…。
んっ、ふう…。
言いつけ守れました。
あっ…。んふ…。んっ…。はあ…。
ミカゲちゃん。偉いですよね。

【位置…次の喘ぎ、右耳側0センチへ移動しながら】

あっ、んっ、はあ、はあ。
はあ、んっ、ふう、ん…。

【ここから囁き（有声音）】

あと、すいません。
んっ、ふう。
また、イキます。
あっ…、んっ…。ふう、はあ。
バイブでおまんこ、ずっとぐちゅぐちゅ…。
んっ、あっ…。
いじめられてた、もので…。
はあ、はあ、んっ、ふう。
あ、だめ。イキます。
先輩っ！ せんぱいっ！

（←次の二行で絶頂）

あっ、んっ。んんっ。
んあっ！ あっ…いくっ…！！！！（絶頂）

【ここからさらに、追い打ちで絶頂する感じ】

ん…。はあ、はあ、はあ、はあ。
イキました。おまんこ、イキました。
んっ、あっ、はあ。はあ。

あ、やばい。

バイブが、おまんこ、いじめて。

んっ、ふう、はあ、はあ。

先輩。ダメです。

おまんこ、ダメ…。

あ…。んっ…！ んあっ！ あふ……！（絶頂）

SE…潮吹き

【囁き終了】

【位置…正面斜め右耳側5センチ】

【演技…バイブ泊まるまで、苦しそうに喘ぐ】

ふう、ふう、はあ。はあ。

お潮。ふいちゃいました。

あっ…。んっ。

先輩の、命令で、おまんこ、ぐちゃぐちゃです。

はあ、はあ。んっ、はあ。

ん。止めて、良いんですか？

んっ、ふう。

はい。ありがとうございます。

んっ…。はあ…。

ではバイブ…。止めます。

んっ…。

SE…スイッチを切る

【次の一行で呼吸を整える】

はあ…。はあ…。はあ…。はあ…。

ふふ。先輩。

【位置…次のん…。で、右耳側0センチへ移動】

【ん…。は、甘えてすり寄る感じ】

ん…。ふふふつ。

【ここから囁き（有声音）】

…楽しめました？

ミカゲちゃん、良い子でしたか？

えへへ。ならよかったです。

これから私も、先輩の言いつけは守りますから……。
日常でも、えっちでも……。
なんでも言ってくださいね。ふふふ。

トラック8…生ハメ騎乗位えっち

【位置…正面斜め左耳側、30センチ】

お。出た。

先輩先輩。見て下さい。

色違いのポコル、ゲットです。

ふふ。

今朝からずっと作業して、ようやくですよ。
がんばりました。

はい。そうですね。これでひと段落です。

ふふ。えっちですか？

別に言って頂ければ、

ゲーム中でも、おまんこしたのですが……。

では、ボックスを整理してセーブするので、
ズボン脱いでおいてください。

SE…セーブ

……よし。

【位置…正面30センチ】

はい。先輩。

おちんちん、ミカゲちゃんのおまんこに入れますよ。

騎乗位ですので、楽にさせて頂き。

【次の二行で挿入】

んっ…。あっ…。

んんっ…。んっ…。んあっ…！

はあ…。はあ…。ふう…。

奥まですっぷりです。気持ちいいですか？

ふふ。嬉しいです。

【位置…次のセリフ、左耳側のセンチへ移動しながら】

それではぎゅって、密着して…。

【ここから囁き（有声音）】

腰振りますね。

【ここから、ゆっくりめのピストン】

んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

気持ちいい？

んっ…。ふう…。

このおまんこは、先輩のための、おまんこですからね。
んっ…。あっ…。ふう…。はあ…。

先輩おちんちんと同じ大きさのバイブで、毎日オナニーして。
はあ…。はあ…。

ハメた時。ピッタリになるよう、おまんこ調教してますし。
んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

ピルも欠かさず飲んで、
んっ…。ふう…。

いつでも生ハメできるように、してるんです。
んっ…。ふう…。はぁ…。はぁ…。

偉いですか？

んっ…。はぁ…。

良い子ですか？

んっ…。あっ…。んっ…。はぁ…。

ミカゲちゃん、先輩のオナホとして、優秀ですか？
んっ…。ふう…。あっ…。はぁ…。

えへへ。嬉しいです。

あっ…。んっ…。

私のおまんこ、いっぱい性処理に使ってくださいね。

んっ…。あっ…。はぁ…。ふう…。

んっ…。はぁ…。ふう…。んっ…。

【耳舐め30秒】

んー…。すき。

あっ…。はぁ…。

おちんちん、気持ち良すぎます。

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

んっ…。んっ…。ふう…。ふう…。

やはり、女の子は、こうなってしまうのですね。

あっ…。んっ…。はぁ…。ふう…。

どれだけ頭が良くても、

んっ…。はぁ…。

好きな人のおちんちん、突っ込めば…、

んっ…。あっ…。ふう…。はぁ…。

おまんこ気持ちいい。おちんぽ大好きー。って。
はあ…。ふう…。んっ…。ふう…。
頭の中、おバカになって、しまうんです。
んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

んー…。幸せ…。
んっ…。ふう…。
おまんこずちゅずちゅして。
んっ…。あっ…。

先輩おちんちん、大好きっ子にされちゃうの。
あっ…。ふう…。んっ…。ふう…。
女の子として調教されるの。幸せです。
んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

【耳舐め30秒（以下、耳舐しながらセリフ）】

んちゅ…。ちゅ…。
オナホにして？
れろれろ…。んちゅ…。
もっとミカゲちゃんのおまんこ。
んちゅ…。ちゅ…。れろれろ…。んちゅ…。
おちんちんで、ぐちゃぐちゃにして？
んちゅ…。ちゅ…。
えへへ。先輩に使われるの、ホントに幸せです…。
んちゅ…。ちゅ…。れろんちゅ…。ちゅ…。

【引き続き耳舐め10秒】

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。
んっ…。ふう…。んっ…。あっ…。

すいません、先輩。

んっ…。ふう…。

イキます。

あっ…。んっ…。はあ…。はあ…。

やっぱり、おまんこ弱くて。

んっ…。あっ…。

先輩おちんちんに、すぐ、分からされちゃいますね。

あっ…。んっ…。ふう…。ふう…。

んっ…。ふう…。あっ…。はあ…。

【次の二行で絶頂】

イク。イク。

んっ、あっ…。イツ……………く……………！

んあっ…。あっ……………。

【次の二行、引き続きピストンしながら呼吸を整える】

んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

【少し余裕のない感じを出しつつ、喘ぐ】

はい。イキました。

んっ…。ふう…。

おまんこ、とても深く。

んっ…。あっ…。

絶頂…。してます。

はあ…。ふう…。んっ…。ふう…。

でも…。ミカゲちゃん。ピストンやめません。

あっ…。んっ…。

先輩にお願いされた、セックスですから。
あっ…。はあ…。
良い子のミカゲちゃんは。先輩がいくまで。
んっ…。ふう…。
痙攣おまんこに、ずちゅずちゅと…。
あっ…。はあ…。んあっ…。ふう…。
おちんちん深く、打ち込み続けます。
はあ…。ふう…。んふ…。はあ…。
偉いですか？ いい子ですか？
んっ…。ふう…。
えへへ。大好きです。先輩。

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

【耳舐め30秒】

【次の一行、ひときわ激しく喘ぐ】

あっ！ んんっ！ んっ！ んふ！
んっ…。あっ…。ふー…。ふー…。

ふふ。大丈夫ですよ。

あっ…。ふう…。

おまんこ、壊れちゃいそうですけど。大丈夫です。

あっ…。んっ…。んっ…。はあ…。

えへへ。壊れても、大丈夫って。意味です。

あっ…。んっ…。ふう…。ふう…。

ミカゲちゃん、先輩の、オナホですから。

あっ…。んっ…。んっ…。はあ…。

おまんこで。好きに遊んで、

んっ…。ふう…。

壊してください。先輩…。

んふ…。ん…。

【耳舐め30秒】

んっ…。あっ…。ふう、ふう。
あ、またイキます。
おまんこ、お潮吹きます。
んっ…。ふう…。
ふふ。我ながら、雑魚なおマンコ…。
んっ。んっ…。
先輩おちんちんで、すぐいくよう、調教されてます。
あっ。んっ。ふ、ふう…。

【次の一行、突然いく感じの絶頂】

あっ…。いくっ……。んふっ…。ん…。

【まだピストンは続行、ここからだいふ苦しそうに喘ぐ】

んっ、あっ。はあ…。はあ…。
んっ…。ふう…。あっ…。ふう…。
はい。おまんこ、もう。んっ…。ぐちゃぐちゃです。
あっ…。ふう…。んっ…。はあ…。
ぐちゃぐちゃトロトロの、弱いおまんこ、
あっ…。ふう…。
いっぱいオナホに、してください。
はあ…。はあ…。んっ…。ふう…。

一応、このおまんこ、
あっ…。ふう…。
ミステリー好きで、頭脳明晰な女の子の、おまんこです。
あっ…。んっ…。はあ…。ふう…。
今はただ、先輩の性処理のための、オナホですよ。
あっ…。はあ…。んっ…。ふう…。

【耳舐め30秒】

んっ…。ふう…。はあ…。はあ…。
先輩、命令…。

あっ…。んっ…。

何か命令、欲しいです。

はあ…。ふう…。あっ…。ふう…。

イキまくってるミカゲちゃんのおまんこで、

んっ…。はあ…。

もっと、遊んでください。

んっ…。ふう…。あっ…。んっ…。

はあ…。ふう…。んっ…。はあ…。

はあ…。ふう…。

はい。わかりました。

あっ…。う…。ふう…。はあ…。

先輩の命令、実行します…。

んっ…。ふう……………。

【囁き終了】

【ピストンも一旦ストップ。喘ぐのもストップ】

【位置…正面15センチ】

【演技…だいぶ疲弊している感じ】

では…。先輩。

クリトリス、指でこねながら、

射精するまで全力ピストン、しますね。

言いつけどおり自分の体、徹底的にいじめます。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き有声音】

見てて下さい。

ミカゲちゃんが好き先輩のおちんちんでイキまくるところ
見てて？ 先輩。

【激しいピストンスタート】

【ここから、出来るだけ激しく喘ぐ。】

ピストンのリズムとかはあんま意識しなくて良いです。】

んっ、あっ、はあ、ふう、
んっ、ふう、あっ、はあ。
ふーっ。ふーっ。んっ、あふっ。
んっ、ふう…。

先輩、イク。
イクイク。

んっ、はあ、ふう、はあ。
あっ、んっ。んふ…。んっ。
ずっとイってます。先輩。
おまんこ、壊れちゃいます。
はあ、ふう、んっ、ふう。
んっ、はあ、あ、はあ。

気持ちいいです？

んっ、はあ。

ミカゲちゃん、先輩のオナホに、
んっ…。あっ、あふ、ふう…。
ちゃんとなれてますか？
んっ…。あっ、ああ、あっ…。
ふーっ。ふーっ。んっ、あっ。
えへへ。よかった、です。
ふう、ふう、んっ、はあ。

先輩のお願いなら。

はあ、ふう。

いつでもミカゲちゃん、

あつ、んっ。ふう、はあ。

おまんこイキっぱなしで、痙攣。ピストン、しますよ。

あつ、んっ。ふーっ。ふーっ。

んっ、んあつ、ああっ。んっ…。

すき…。

んっ、あつ。

先輩、好き。

はあ、はあ、んっ、ふう。

イク。いく。いく！

んっ！ んふ…！

はあー。ふうー。

んっ、ふう、はあ、ふう。

中出しですか？

んっ、はあ。

どーぞ、先輩。

はあ、はあ、ふう、ふう。

ミカゲちゃんのおまんこは、

ピル、飲んでますから。

はあ、はあ。ん。ふう。

生ハメするための、オナホです。

ふう、ふう、はあ、はあ、

奥までたっぷり、

はあ、ふう。

せーえき注いで？

んっ、あつ、はあ、ふう、

んっ、ふう、はあ、はあ。

出して。出して。
中出し。中出し。
んっ…。ふう…。

ミカゲちゃん、奥まで満たして？ 先輩…。

【次の一行で絶頂】

んっ！ あっ！ んふっ！ いっ…くっ……………！

【ピストン終了】

【次の一行で、呼吸を整える】

ん……………。あ……………。
ふうー……………。ふうー……………。
ふうー……………。ふうー……………。

【位置…次の一行、正面5センチへ移動しながら】

【演技…脱力感を残した感じで】

…いいですよ。
もっと沢山、精液下さい。先輩……………。

【深めのキスから、だんだん優しめのキスへ。30秒】

はあ…。ふう…。

…どうですか？
最後まで、イキまくりのおまんこピストン、しました。
言いつけ守れて、ミカゲちゃん…。

…えへへ。いいこいいこ、嬉しいです。
はあ…。ふう…。

【位置…次のん…。で、左耳側5センチへ移動】

【ん…。は、甘えてすり寄る感じ】

ん……。好き。

ふふ。おまんこまだ、きゅんきゅんしてます。
ピル飲んでなければ、赤ちゃんできてますね。これは……。

あ。お掃除フェラしますか？

はい。任せて下さい。

んっ……。あっ……。んふ……。(おちんちん抜く)

【次の一行、正面30センチへ移動しながら】

ん……。しょ……。

えへへ。大好き。

【ここからフェラしながらセリフ。

この辺のセリフは可聴性大事にしたいので、

啜えながらではなく、

セリフの時だけおちんちんから口を離す感じで
しゃべって欲しい】

んちゅ……。ちゅ……。あむ……。んちゅ……。

ちゅ……。れろ……。んちゅ……。ちゅぱ。

あ。そーいえば、先輩。聴きたかったんですけど。

んちゅ……。ちゅふ……。ちゅぱ……。

先輩は、彼女とか、作らないんですか？

んちゅ……。れろれろ……。んちゅ……。ちゅ……。

ん……？ 何か、おかしかったでしょうか。
んちゅ……。ちゅ……。ちゅぷ……。ちゅぱ。

私？ 私は相棒でしょう？
んちゅ……。ちゅ……。れろ……。ちゅぱ……。

おまんこは、先輩おちんちんのオナホですけど……。
彼女ではないつもりです。

はむ……。んちゅ……。ちゅ……。れろ……。

作っても良いですよ？ 彼女。
んちゅ……。ちゅぱ。

私以外のオナホもあった方が、色々楽しいでしょう？
んちゅ……。れろれろ……。ちゅ……。ちゅぷ。
ちゅぱ。んちゅう……。ちゅ……。んちゅ……。

なんなら、紹介しましょうか？
んちゅ……。ちゅ……。

陸上部のヨシミちゃんとか……。
じゅぷ……。じゅるる……。んちゅ……。ちゅぱ。

処女で、おまんこの締まりもよさそうで、おススメですよ？
んちゅ……。れろ……。じゅる……。んちゅ……。

おや。ダメですか。
んちゅ……。ちゅ……。

……はあ。成程。

こう言う話も、表ではいけないのですね。
んちゅ……。ちゅ……。れろ……。んちゅ……。
わかりました、先輩の言いつけなら、戒めます。
ちゅ……。んちゅ……。ちゅぷ……。ちゅ……。

…私ですか？ んちゅ…。ちゅぱ。

彼氏なんか。作りませんよ？

じゅぷ。じゅるる…。んちゅ…。

このおまんこ、先輩専用ですし…。

んちゅ…。ちゅぷ…。

彼氏なんかより、大好きな先輩と、一緒にいたいですからね。

あむ…。じゅぷ。じゅぷ。じゅるる…。んちゅ…。ちゅ…。

ちゅ…。ちゅぷ…。んちゅ…。ちゅ…。ちゅぱ…。

(フェラ終了)

ん…？ なんですか？ その微妙な顔は。

私のお掃除フェラ、ダメでしたか？

ん。なら良かったです。

ああ、はい。分かりました。

彼氏は作りません。

元から作る気ないですが、先輩の言いつけなら、絶対守ります。

セフレもダメ？

分かりました。セフレも作りません。

別にそれも、元から作る気ないですが。

えへへ。

なんか急に、いっぱい命令されちゃいました。

もっとして良いですよ。

ミカゲちゃん、先輩に命令されるの、嬉しいです。えへへへ。

トラック9…エピソード（添い寝）

SE…扉を開ける音

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

あ。お風呂あがりましたか？

…すいません。

突然お泊りを要求して、お邪魔しちゃって。

そうですか。

先輩も、先輩のご家族も、優しいですね。

お風呂上りにゼリーはどうですか？

私がついて来た、箱詰めの高いやつがあるんですけど。

おや、歯磨きしたあとでしたか。

……はい。

私も寝る準備は整ってます。

ふふ。寝ましようか。先輩。

SE…ベットに寝る

【位置…正面斜め左耳側30センチ】

ん……。ちょっと待ってて下さいね…。

服を脱ぐので。

あー…。いえ。寝ますけど。

せっかくだから、先輩の抱き枕を務めようと思ひまして。

裸んぼの女の子の方が、抱いていて楽しいでしょう？

ですから…。はい。

これでミカゲちゃん。すっぱんぽんです。

【位置…左耳側5センチ】

ぎゅーう。

…大丈夫。風邪は引きませんよ。
先輩の体、温かいので。

んー…。ふふ。気持ちいいです。

好きなように私の裸を、
だっこして、楽しんでください。先輩。

【呼吸音、20秒】

ん……？

どうして泊まりに来たか？

ふふ。何かあったの。分かるんですね。
名探偵です。

……。

…今日の夕方ね。

双葉さんのご両親が、私の家に来たんですよ。

どこからか広まった、
真犯人のサラさんを追い詰めたのが私だと言う話。

それを聴いて、私の家に、菓子折りを持ってきて。
「双葉を殺した殺人犯を捕まえてくれてありがとう」…と。
お礼を言いに来たんです。

……はい。

私が持って来たゼリーが、それですね。

……。

でも私、

双葉さんのご両親と話すの、とても怖かったです。

倫理観の無い私は、

簡単に失言をこぼしてしまいますから。

それをしないように、

慎重に言葉を選ぶ必要があつて…。

私、先輩と一緒にいるからこそ、上手く喋れるんですよ。

失言や、危なっかしいことになれば、

先輩が止めてくれるっていう安心感があるから、

この前のネネちゃんとの対話みたいな、

デリケートな話にも、踏み込むことが出来て……。

だから今日の、

先輩がいない状態で、双葉さんの遺族と話すのは、
とても…。恐ろしかったです。

…ええ。

だから、お泊りに来ました。

「お悔やみ申し上げます」「お力に慣れて幸いです」と。
そればかり言いましたけど。

自分が馬鹿なことを言っただけで無いのか、本当に心配で…。
今は、先輩のそばにいたいんです。

ん……。

ホントに偉いですか？

ミカゲちゃん、良い子？

…はい。安心します。

先輩のそばにいて、先輩の言うことを聴いてれば、私はまともな人間のフリを、
していられますから…。

…もっと抱き寄せて？ 先輩…。

【位置…左耳側0センチ】

【呼吸音、20秒】

【演技…リラックスした感じで】

【ここから囁き（有声音）】

ふふ。眠くなってきました。

ちゃんと話して、良い子って、言って貰えたので。
…安らぎます。

先輩はどうですか？ 眠れそうですか？

…ふふ。すいません。

ちよっと私の姿が、刺激的すぎますか。

眠れないなら。

おまんことかおくちとかで、抜きますよ？

ミカゲちゃん、先輩おちんちんの、オナホですから。

…そうですか？

命令が欲しかったのですが…。
確かに、さっさと寝るのも、大事ですね。

【呼吸音、20秒】

ん…？ お休みのキス？

ふふ。命令、考えてくれたんですね。

【囁き終了】

【位置…正面5センチ】

ん…。はむ…。ちゅ…。

はい。

ミカゲちゃん、いい子ですか？

えへへ。幸せです。

【位置…次の一行、左耳側0センチへ移動しながら】

これなら、いい夢が見られそうですね…。

【呼吸音、20秒】

【ここから囁き】

好き…。先輩…。

ふふ。そろそろ会話もやめて、眠りにつかないとですね。
先輩の声が聴きたくて、つい色々、話してしまいます。

いえ。黙りますよ。

ちゃんと寝ましょう？ 先輩。

【呼吸音、20秒】

【演技…だいぶ眠い状態】

先輩。もうちょっと…。
もうちょっと強く、抱きしめて…。

【呼吸音、20秒】

ん…。好き。
相棒です……。大好き……。

【呼吸音10秒】

…それでも。
また事件が起きたらいいと思ってる私は…。
救いようが無いですね……。

おやすみ…。先輩…。

【呼吸音30秒】

トラック10…過去編

【このトラックは過去編で、もうちょっとミカゲちゃんが擦れてる時代のものなので、少し感情の薄い感じを出して欲しいです。】

SE…通りがかりの人が、ゴミ箱にモノを捨てる音

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

あの…。

相席、良いですか？

…どうも。

【位置…正面50センチ】

合言葉ですか？

「四つの署名」で、よろしいでしょうか。

…正解？ ふふ。

中々面白かったですよ。

部室へ行くと謎解きがあって、それを解くとあなたのモノへたどり着く。

ミス研らしい、文化祭の催し（もよおし）かなと思います。

あ、景品ですか。

ありがとうございます。

ちなみに私は、何人目の正解者でしたか？

おや。一人目ですか。ホントに？

もう文化祭も終盤ですけど…。それは何とも…。

いえ。

そんなに難しいとは思いませんでしたよ。

私なんて、自分のクラスの出し物が終わってから、
つい十分前に、この謎解きに望みましたし……。

……では。

暇な用でしたら、少し雑談でもしてください。

私、部活入ってなくて。

ミス研に入ろうかと迷ってたんですよ。

一年三組。中原御影（なかはらみかげ）です。

……好きなミステリーですか？

そうですね。

あなたが今読んでいる作者さんの、一つ前の作品が好きでした。

同じ？

ふふ。気が合いますね。

…あと。

ミステリーを読むこと以外にも、
現実の謎を解き明かすのが、私は好きです。

例えば、そうですね。

今朝全校集会で校長が怒っていた、あの事件の犯人なども、
私は推理して、突き止めました。

そう。

中庭にある、草が生い茂った中に建てられている、校長の銅像。
それに今朝、イタズラでひげ眼鏡がかけられていた事件。

校長、随分怒ってましたね。
せつかくの文化祭に泥を塗った。とか何とか。

アレの犯人を、解き明かしたんですよ。私。
それもいい、今さっき。

ええ。ホントですよ？

あー…。いえ。

解き明かしたと言うより、目星がついたといった程度ですが…。

【位置…次の一行、正面斜め左耳側50センチへ移動しつつ】

ちょっと待ってて下さいね。

えっと…。確か先程、ゴミ箱に……。

ほら、これ。

先程野球部の人捨てて行った、ウェットテッシュです。

【位置…正面50センチ】

この20枚入りのウェットテッシュ、
期間限定のモフモフモンスターがデザインされたモノで、
実は昨日発売なんですよ。

だから私は。

このウェットテッシュを捨てた野球部の人、
銅像にひげ眼鏡をかけた犯人だと考えています。

……よくわかりませんか？
では解説しますけど。

言った通りこのウェットテッシュは、昨日発売です。
先程の野球部の人を買ったとして、昼間は学校がありますから、
購入時間は放課後の可能性が高いでしょう。

となればこのウェットテッシュ、
昨日の放課後から現在までの間、
およそ一日弱の短期間で、使い切られたと言うことになります。

つまりあの野球部の人には、
何か昨日の放課後から今までの間に、
ウェットテッシュを大量に消化する出来事があったと、
そう考えることが、できる訳ですね。

…さて。

それで、
校長の銅像にひげ眼鏡をかけた際のことを考える訳ですが。

あの辺は、結構草が生い茂っています。
その中に立ち入って、銅像にひげ眼鏡をかけた場合、
この時期は、沢山のあるモノが、衣服に付着するハズなんですよ。

ええ。ひつつき虫。
アレチヌスビトハギ。

…が、ひげ眼鏡をかけた犯人の衣服には、くつついたと思います。
そして、ひつつき虫を簡単に取りライフハックに、
ウェットテッシュでふき取ると言うモノがありました…。

もし犯人がこの方法を知っていて、
手持ちにウェットテッシュがあれば、
それを実践したのではないでしょうか。

…以上の事から、先程このウェットテッシュを捨てた野球部の人、
校長の銅像にひげ眼鏡をかけた犯人だと、
私は予測します。

恐らく仲間内での悪ノリでしょうから、
彼以外にも複数の人で集まって、
今朝銅像にイタズラをしたのでしよう。

そしてみんなにひつつき虫がつき、
それを取るために多くのウェットティッシュを消化して、
20枚入りのこの袋が、一日で底をついた……。
そう言うことです。

ええ。そうですね。
他にもウェットティッシュを大量に消化する事由（じゆう）は、
いくらかでも考えられます。

ですが校長は野球好きで、
野球部に結構、いろいろな口出しをしていたようですし、
動機が十分存在すんですよ。
そこまでふまえれば、我ながら悪くない推理かと。

ふふ。お褒め頂き嬉しいです。

では。次は証拠を手に入れないといけませんね。

恐らく野球部内で共有して、写真なども撮っているでしょうから。
それを聴き込みで、手に入れることにしましょう。

それで、その証拠と共に先生に報告して、
この事件は解決ですね。

……え？

何か、おかしかったですか？

はい。先生に、報告します。

……何故と言われましても。

そういうモノだから……。ですかね。

悪いことをした人は、先生に怒られるべきでしょう？

…はあ。成程。

被害をこうむっていない人が、
わざわざ指を指す罪でもないと…。

私刑じみっていて下品。そういう考え方も、あるのですね。
いえ。その考え方が、一般的なのでしょうか…？

……。

……あの。ですね。

私、分からないんですよ。

どれくらいの罪が裁かれるべきで、

どれくらいの罪が、許容されるべきなのか。

授業中ノートにスマホを弄ってる子を報告したら、
チクリ魔だと言われました。

なので悪事は見逃すべきだと思って、

募金係が募金されたお金をくすねているのを、見て見ぬフリしたら、
知っているのにどうして黙っていたのと、糾弾されました。

……この線引きは、

普通の人なら分かって当然のようなんですけど……。

私はどうも、分からなくて…。

ですが悪事を解き明かすのは好きなので、

よくそのバランス感覚の無さで、失敗するんです。

…他にも、気遣いに欠ける発言とか、私多いんですって。
倫理観が無い。欠けている…。

まあ、そういうことです。

……。

あはは。すいません。

突然、人生相談みたいなことをしてしまいました。
初対面なのにこういうことを話してしまうのも、
私のそれなんでしょうね。忘れて下さい。

ミス研に入るのも、やはり辞めておきます。

こんなだから私、人と関わらない方が良いんですよ。

……ん？ なんですか？

私だけ……？

SE…チャイムの音

…はい。文化祭の、終わりのチャイムです。

結局あなたの謎解きを解けたのは、私だけだったようで。

…そうですね。合言葉の、四つの署名の冒頭は……。

ええ。名探偵に倫理観はいらないというのは、そうかもしれせん。

（シャーロックホームズの四つの署名の冒頭は、
ホームズがコカインを打つシーンです）

【ここからのセリフは、少し涙をにじませる感じにすると、
良い感じになると思います。（少しですー！）】

…なんですか？

私を、勧誘してるんですか？

それなら私、入部…します。

実際のところ居場所が無くて、
受け入れてくれる場所があるなら、入りたいんです。

【ここからは、涙を少し収めて、若干普通の調子に戻す
(泣くのはこらえて、気丈に振舞う感じ)】

……でも。そうですね。

ホームズを例にとるのであれば、

ワトソンが彼の不真面目さを咎めて、

初めてホームズは、名探偵足りえるんです。

……だから。もし私が入部した暁（あかつき）には。

私の相棒になってくださいよ。先輩。

了

トラック１１…華凜ちゃん

【華凜ちゃんも担当して欲しいです！】

【位置…正面、出来るだけ遠く】

華凜 おーい。ミカゲちゃん。

【位置…正面５０センチ】

【方向…ミカゲの方向、

正面斜め右耳側５０センチ辺りを向く】

御影 おや、カリンさん。おはようございます。

華凜 うん。おはようおはよう！

ミカゲちゃんの相棒さんも！ おはようございます。

御影 …それで、なんですか？ この騒ぎは。

華凜 そう！ 大変なんだよミカゲちゃん。大事件でさ！

御影 大事件ですか。

華凜 なんと昨日の夜、美術室でね。

うちの生徒が殺されたんだよ！